

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94700 市内遺跡発掘調査事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財を保護し次代に伝える。 県指定史跡の国指定への格上げ 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業により影響を受ける埋蔵文化財を記録保存する。 保存活用の必要な遺跡の内容を確認する。 国指定に向けた調査の実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	74.3%	72.8%	↗
国・県指定・登録文化財の件数	176件	177件	190件

2.事業の実施結果等(Do)

		R2			R3		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,900	1,674	8,690	8,690	7,567	5,893
特定財源	国費(埋蔵文化財発掘調査事業費1/2)	950	808	4,330	4,330	3,819	3,011
	県費						
	その他(ふるさと納税)				3,058	3,058	3,058
一般財源		950	866	4,360	1,302	690	△176
個票枝番	主な事業内容						
	試掘・範囲確認調査、整理	530	673	1,030	1,030	738	65
	松倉城跡・広瀬城跡等の国指定に向けた調査	1,280	937	7,570	7,570	6,790	5,853

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		3,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
8,658	5,520	5,520	△3,170	
4,329	2,760	2,760	△1,570	
4,329	2,760	2,760	△1,600	
査定額	説明			
1,520				
4,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 三仏寺廃寺跡、後山遺跡の試掘等確認調査の実施 松倉城跡の確認調査の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会対応、試掘調査等を実施し、埋蔵文化財保護を推進した。 松倉城跡の国指定に向けた確認調査を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 開発に対応するため、継続して事業を実施する。 松倉城跡等の国指定に向けた取り組みを行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 三仏寺城跡、中山遺跡等の試掘等確認調査の実施 松倉城跡の測量等確認調査の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会対応、試掘調査等を実施し、埋蔵文化財保護を推進した。 松倉城跡の国指定に向けた確認調査を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 開発に対応するため、継続して事業を実施する。 松倉城跡等の国指定に向けた取り組みを行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業などに対応するための緊急目的の発掘調査に必要な経費を計上 調査指導委員会の指導等による松倉城跡の調査に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94710 歴史資料購入事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画			
			目	7	文化財費		教育振興基本計画			
担当課			教育委員会事務局	文化財課	内線	2977				

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・郷土に関わる歴史資料の流失、散逸を防ぐとともに、市民の郷土学習に役立てる。	概要	・郷土に関わる歴史資料を購入する。
----	--	----	-------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	74.3%	72.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R2			R3		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		4,240	4,134	1,000	1,000	795	△ 3,339
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		4,240	4,134	1,000	1,000	795	△ 3,339
個票枝番	主な事業内容						
	歴史資料等の購入	4,240	4,134	1,000	1,000	795	△ 3,339
	こう峠口古墳周辺土地の取得						

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
16,434	26,910	26,910	25,910	
16,434	26,910	26,910	25,910	
査定額	説明			
1,000				
25,200				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 郷土に関わる歴史資料の購入 購入資料件数 3件 流出、散逸を防いだ件数 3件 土地の公有化 広瀬城跡用地の買戻し 1件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 郷土に係る貴重な資料の流出、散逸が防がれ、公有化により展示公開や研究等への活用がなされた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に郷土の歴史資料の購入を進める。 飛騨高山まちの博物館などの教育施設での展示を通じて、市民への公開を実施する。 学校などへ、資料の活用に向けた情報提供を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 郷土に関わる歴史資料の購入 購入資料件数 3件 流出、散逸を防いだ件数 3件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 郷土に係る貴重な資料の流出、散逸が防がれ、公有化により展示公開や研究等への活用がなされた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に郷土の歴史資料の購入を進める。 飛騨高山まちの博物館などの教育施設での展示を通じて、市民への公開を実施する。 学校などへ、資料の活用に向けた情報提供を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史資料の購入に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> こう峠口古墳周辺土地の取得について、事業課とのヒアリングに基づき必要な金額を追加
-------------------	--

市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり
--------------	---

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94720 文化財保護事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2 心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9 教育費		まちづくり戦略	(5) 歴史伝統の保存、継承、活用		
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354	項	4 社会教育費	根拠計画	教育振興基本計画 過疎地域持続的発展計画		
			目	7 文化財費					

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 地域で文化財を保存活用する活動を支援し、文化財の保存を図る。 文化財保護行政の円滑な執行 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保存団体に対する助成 史跡や伝承芸能の保存団体の運営・活動に対する助成 文化財関係の協議会等への参加
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	74.3%	72.8%	↗
国・県指定・登録文化財の件数	176件	177件	190件

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

	R2	R3					
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)	12,175	11,362	14,175	14,175	13,371	2,009	
特定財源							
国費 ()							
県費 (無形文化遺産伝承事業費1/2、県移譲事務交付金)	1,197	1,123	1,123	1,123	1,198	75	
その他 (飛騨高山ふるさと基金繰入金、ふるさと納税)	100	100		12,172	12,172	12,072	
一般財源	10,878	10,139	13,052	880	1	△ 10,138	
個票枝番	主な事業内容						
	文化財保護団体の保存活動に対する助成	8,908	8,628	10,612	10,612	10,461	1,833
	無形文化遺産伝承事業補助金	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		12,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
14,454	14,304	14,304	129	
1,085	1,198	1,198	75	
13,369	13,106	13,106	54	
査定額	説明			
10,771				
2,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 補助件数 58件 伝統的建造物群保存地区保存会 11団体 高山祭屋台管理 1団体 からくり屋台管理技術伝承保存 1団体 高山祭屋台保存技術後継者育成 1団体 高山祭屋台保存修理技術研修事業・修得 1社、1名 伝承芸能保存団体 19団体 市指定文化財管理 2団体 史跡保存団体 12団体 国指定文化財管理 8団体 無形文化遺産保存団体 1団体 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 伝承芸能の継承や史跡の整備など、活動団体の積極的な文化財保護活動が行われ、多くの活動団体に利用されている。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 保存団体と意見交換を行い、情報提供を行うなどの連携を図る。 	

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 補助件数 60件 伝統的建造物群保存地区保存会 11団体 高山祭屋台管理 1団体 からくり屋台管理技術伝承保存 1団体 高山祭屋台保存技術後継者育成 1団体 高山祭屋台保存修理技術研修事業・修得 2社、2名 伝承芸能保存団体 18団体 市指定文化財管理 2団体 史跡保存団体 13団体 国指定文化財管理 8団体 無形文化遺産保存団体 1団体 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 伝承芸能の継承や史跡の整備など、活動団体の積極的な文化財保護活動が行われ、多くの活動団体に利用されている。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 保存団体と意見交換を行い、情報提供を行うなどの連携を図る。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 地域文化継承への支援に必要な経費を計上 伝承芸能保存団体等に対する助成に必要な経費を計上 高山祭屋台の保存技術研修に対する助成に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 全国風土記の丘協議会負担金について、事業見直しにより金額を精査
-------------------	---

市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに
--------------	--

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94725 指定文化財保存修理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	7	文化財費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画	
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2355							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・国・県・市指定文化財を保護し次代に伝える。	概要	・指定文化財の保存修理に対する助成
----	------------------------	----	-------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	74.3%	72.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職人員件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	13,000	12,466	3,140	3,140	2,200	△ 10,266
特定財源						
国費 (国指定文化財修理事業費1/2)			1,100	1,100	1,100	1,100
県費 (県指定文化財修理事業費2/3)	1,430	1,430				△ 1,430
その他(ふるさと納税)				1,100	1,100	1,100
一般財源	11,570	11,036	2,040	940	0	△ 11,036
個票枝番	主な事業内容					
	指定文化財の保存修理に対する助成等					
	10,100	9,751	940	940	0	△ 9,751
	700	570	2,200	2,200	2,200	1,630
	2,200	2,145				△ 2,145

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
9,945	9,900	9,900	6,760
1,193	1,200	1,200	100
518	520	520	520
8,234	8,180	8,180	6,140
査定額	説明		
6,720			
2,400			
780			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 保存修理に対する助成 市指定文化財 旧豊坂家住宅、大隆寺弁天堂、法正寺の枝垂桜、一里塚 県指定文化財 槻本神社のスキ 国指定文化財 治郎兵衛のイチイ
評価等	・各文化財の状態を把握し、優先順位を決め、計画的に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・国指定天然記念物臥竜のサクラの保護工事の実施
評価等	・各文化財の状態を把握し、優先順位を決め、計画的に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・指定文化財のための保存修理に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94750 伝統的建造物群保存地区保存事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝建地区内における伝統的な町並みを維持する。	概要	・伝建地区内における伝建物の修理及び非伝建物の修景事業に対する助成等
----	-------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	74.3%	72.8%	↗
重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景の実施済割合	71.8%	72.6%	90%

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		40,500	32,446	30,600	30,600	19,934	△ 12,512
特定財源	国費 (伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2)	20,000	15,973	15,000	15,000	9,721	△ 6,252
	県費 ()						
	その他(ふるさと納税)		12,704		10,073	10,073	△ 2,631
一般財源		20,500	3,769	15,600	5,527	140	△ 3,629
個票枝番	主な事業内容						
	伝統的建造物群保存地区修理修景に対する助成	39,900	31,900	30,000	30,000	19,393	△ 12,507

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		40,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
30,600	24,600	24,600	△ 6,000			
15,050	12,050	12,050	△ 2,950			
	8,000	8,000	8,000			
15,550	4,550	4,550	△ 11,050			
査定額	説明					
24,000	伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく補助					

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・修理、修景に対する助成 6件
評価等	・保存計画に基づき修理・修景を行い、町並み景観の整備を推進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
	・保存計画に基づき、今後も継続実施する。

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・修理、修景に対する助成 4件
評価等	・保存計画に基づき修理・修景を行い、町並み景観の整備を推進した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
	・保存計画に基づき、今後も継続実施する。

担当課 予算要求 ポイント	・伝統的な町並み保存の推進に必要な経費を計上 ・伝統的建造物群保存地区修理修景に対する助成に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94755 伝統的建造物群保存地区防災対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用			
			項	4	社会教育費		根拠計画画		教育振興基本計画			
			目	7	文化財費							
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 伝建地区を災害に強い町並みとするために、伝建地区内の防火帯としての土蔵の整備や防災設備の整備を継続して実施し、防災能力の向上を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 伝建地区内の防火帯としての土蔵等の整備事業に対する補助 防災設備等の整備 高山市政記念館耐震補強工事の実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	74.3%	72.8%	↗
重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景の実施済割合	71.8%	72.6%	90%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		40,200	29,668	148,890	148,890	102,966	73,298
特定財源	国費(伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2)	19,900	14,741	74,100	74,100	62,852	48,111
	県費()						
	その他(ふるさと納税)		12,704		40,113	40,113	27,409
一般財源		20,300	2,223	74,790	34,677	1	△ 2,222
個票枝番	主な事業内容						
	伝統的建造物群保存地区防災対策(土蔵整備)に対する助成	35,400	25,598	30,000	30,000	27,458	1,860
◎ 1	高山市政記念館耐震補強工事	4,500	3,790	118,550	118,550	75,324	71,534

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		64,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
54,973	49,880	49,880	△ 99,010	
27,290	24,740	24,740	△ 49,360	
	15,000	15,000	15,000	
27,683	10,140	10,140	△ 64,650	
査定額	説明			
25,000	伝統的建造物群保存地区保存条例に基づく補助			
24,700				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 土蔵等整備事業への補助 6件 高山市政記念館耐震補強工事に係る設計
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 保存計画や防災計画、様々な伝建地区の調査報告などを基に防災整備を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 保存計画、防災計画に基づき、今後も継続して実施する。 伝統構法木造建築物耐震化マニュアルの普及・啓発を進める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 土蔵等整備事業への補助 5件 高山市政記念館耐震補強工事及び監理
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 保存計画や防災計画、様々な伝建地区の調査報告などを基に防災整備を行った。 高山市政記念館の耐震補強工事を実施し、歴史的建造物の耐震化による保存を進めることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 保存計画、防災計画に基づき、今後も継続して実施する。 伝統構法木造建築物耐震化マニュアルの普及・啓発を進める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 防火帯としての土蔵等整備に対する助成に必要な経費を計上 高山市政記念館耐震補強工事に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和3年度予算)

事業名	94755 伝統的建造物群保存地区防災対策事業費	区分	<input type="checkbox"/> R2新規	<input checked="" type="checkbox"/> R3新規	会計	1	一般会計	担当課	文化財課
枝番・内容	1 高山市政記念館耐震補強工事		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	9		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		4	社会教育費	内線	2354
		<input type="checkbox"/>		目		7	文化財費	作成年月	R4.7

事業の目的・概要(Plan)

目的	文化財建造物である高山市政記念館を地震から守り、来館者等の安全・安心を確保するため、耐震補強工事を行う	概要	高山市政記念館の耐震補強工事の実施
----	---	----	-------------------

[参考] R2決算(Do・Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	4,500
	繰越	
	補正等	
	最終	4,500
決算額		3,791
対前年度増減額(決算)		3,791

[参考] R3当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	118,550
主な経費	・耐震補強工事	
	・耐震補強工事に係る監理業務	
対前年度増減額(当初予算)		114,050

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	118,550
	繰越	
	補正等	
	最終	118,550
決算額		75,324
対前年度増減額(決算)		71,533

R4当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	24,700
主な経費	・耐震補強工事	
	・耐震補強工事に係る監理業務	
対前年度増減額(当初予算)		△ 93,850

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	・耐震補強工事に伴う設計業務の委託。
[評価等]	・耐震補強工事のための設計書を作成した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・耐震補強工事(耐震補強、耐震壁設置、水平ブレース設置、欠損柱復元、柱等構造物材取替、瓦一部取替、建て起こし)の実施。 ・工事に伴う監理業務の委託。
[スケジュール]	・R3.6 物品搬出 ・R3.6～R4.3 第1期工事 ・R4.4～R4.11 第2期工事

事業実績、評価等	
[事業実績]	・耐震補強工事及び電気工事を実施した。 ・工事に伴う監理業務を委託にて実施した。 ・イメージパネルの現場覆いへの設置、現地見学会の開催等を実施し、普及啓発に努めた。
[評価等]	・高山市政記念館耐震補強工事では柱座屈事故の発生により、工程の一部をが次年度に延伸することとなったため、業者等と調整の上で着実な工事を実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input checked="" type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・耐震補強工事(耐震補強、耐震壁設置、水平ブレース設置、欠損柱復元、柱等構造物材取替、瓦一部取替、建て起こし)の実施。 ・工事に伴う監理業務の委託。
[スケジュール]	・R4.11～R5.2 第2期工事 ・R5.2 物品搬入

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94757 伝統的建造物群保存地区拡大事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・優れた歴史的な町並みを後世に残すとともに、市民による地域の歴史遺産に対する誇りと愛着を高める。また、国の支援を得て保存整備と活用を図る。	概要	・伝統的建造物群保存地区の拡大に向けた町並み保存対策調査の実施 ・国への選定申出に必要な手続き
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
保存対策調査、選定	調査実施	調査実施	伝建選定

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		3,100	1,695	3,100	3,100	1,109	△ 586
特定財源	国費(伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2)	1,500	847	1,500	1,500	554	△ 293
	県費()						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	700	700	1,000	1,000	400	△ 300
一般財源		900	148	600	600	155	7
個票枝番	主な事業内容						
	伝統的建造物群保存地区拡大調査	3,100	1,695	3,100	3,100	1,109	△ 586

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
3,100	3,100	3,100	0			
1,550	1,550	1,550	50			
	1,000	1,000	0			
1,550	550	550	△ 50			
査定額	説明					
3,100						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・寺町空町町並み保存対策調査の実施 [新型コロナウイルス感染症の影響により調査の一部を翌年度に延期]
評価等	・町並みの外観目視調査と寺社の実測調査を中心に行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定していた調査等が実施できなかったため、文化庁と協議の上で事業期間を延長する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・令和4年度の報告書刊行に向けて調査を進める。

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・寺町空町町並み保存対策調査の実施 [新型コロナウイルス感染症の影響により調査の一部を翌年度に延期]
評価等	・町並みの外観目視調査と寺社の実測調査を中心に行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定していた調査等が実施できなかったため、文化庁と協議の上で事業期間を延長する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input checked="" type="checkbox"/> R4完了予定 ・令和4年度の報告書刊行に向けて調査を進める。

担当課 予算要求 ポイント	・伝統的建造物群保存対策調査に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・要求どおり
--------------	--------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94760 歴史遺産等保存活用事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費		過疎地域持続的発展計画				
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2355								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 歴史文化遺産の活用や歴史街道の整備等により、郷土の歴史や文化を次代に伝える。 文化財指定されていない文化遺産や郷土の歴史文化などの保存、継承を支援するための制度を創設する。 記念物を良好な状態で保存管理するための環境を整備する。 美しいふるさと認証制度による郷土愛の醸成や保護活動を促進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 歴史街道の調査・整備を行う。 伝統的建造物及びその周辺環境や無形文化遺産の調査、記録を行う。 文化財標柱・説明看板等を整備する。 美しいふるさと認証団体を募集し認証する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	74.3%	72.8%	↗
美しいふるさとの認証団体数(累計)	136団体	138団体	160団体
国・県指定・登録文化財の件数	176件	177件	190件

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	6,230	5,093	5,130	5,130	3,145	△ 1,948	
特定財源							
国費(国宝重要文化財保存活用事業補助金1/2)	276	276				△ 276	
県費							
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、ふるさと納税)	2,700	2,700		3,145	3,145	445	
一般財源	3,254	2,117	5,130	1,985	0	△ 2,117	
個票枝番	主な事業内容						
	ふるさと伝承記録制作	1,000	0	1,000	1,000	0	
	歴史講座の開講	300	150	290	290	110	△ 40
	歴史遺産、伝統文化保存活用事業	1,180	1,272	3,840	3,840	3,036	1,764
	日本遺産の活用	2,700	2,698				△ 2,698
	記念物の実態調査						
	歴史街道調査・整備	500	434				△ 434

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
5,278	7,540	4,920	△ 210
5,278	7,540	4,920	△ 210
査定額	説明		
0			
290			
1,590			
1,040			
2,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 美しいふるさと認証 5団体 天然記念物保護管理(臥龍のサクラ、小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群) 文化財説明看板等製作 1箇所 「語り部養成講座」を3回(6講座)開講(延べ109名参加) 旧野妻街道の整備 高山城VR展示の作成 『料亭洲さき建造物調査報告書』の刊行 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の貴重な歴史遺産の保護・保存が図られ、郷土学習への活用や伝統文化の継承、保護意識の高まりがみられた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 多言語化表記の普及も踏まえつつ、計画的な説明看板等の設置を行う。 引き続き地域の貴重な無形民俗文化財等の伝承記録を制作する。 引き続き美しいふるさと認証団体の募集と認証を行う。 整備した歴史街道の活用を図る。 日本遺産の活用を推進する。 市指定文化財の国指定に向けた手続きを進める。 歴史講座を通じて、市民の歴史文化に対する理解を醸成する。 	

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 美しいふるさと認証 2団体 天然記念物保護管理(臥龍のサクラ、小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群) 文化財説明看板等製作 2箇所 「語り部養成講座」を3回(6講座)開講(延べ118名参加) 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の貴重な歴史遺産の保護・保存が図られ、郷土学習への活用や伝統文化の継承、保護意識の高まりがみられた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 多言語化表記の普及も踏まえつつ、計画的な説明看板等の設置を行う。 整備した歴史街道の活用を図る。 日本遺産の活用を推進する。 市指定文化財の国指定に向けた手続きを進める。 歴史講座を通じて、市民の歴史文化に対する理解を醸成する。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 伝統文化や文化財の調査・記録による保存・継承と活用に必要な経費を計上 美しいふるさと認証事業において当初想定していた団体等の認証を終えたため予算要求を見送り
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 高山城調査について、必要な金額を追加
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 史跡活用に要する費用を精査

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94770 高山祭屋台保存修理事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	7	文化財費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2354								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・江戸時代から続く日本有数の祭の一つとして数えられる高山祭の宝として、後世に残していく。	概要	・高山祭屋台及び屋台蔵について、緊急に修理が必要なものから順次修理を行う。
----	--	----	---------------------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	74.3%	72.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		40,000	36,482	39,850	39,850	36,633	151
特定財源	国費(高山祭屋台等保存修理事業費1/2)	20,000	18,240	19,900	19,900	18,316	76
	県費(無形文化遺産保存修理事業補助金)	5,000	2,780	1,500	1,500	1,500	△1,280
	その他(高山祭屋台等保存修理事業費寄附金、ふるさと納税)	4,100	10,995	3,900	18,256	14,356	3,361
一般財源		10,900	4,467	14,550	194	2,461	△2,006
個票枝番	主な事業内容						
	高山祭屋台・屋台蔵の修理	40,000	36,482	39,850	39,850	36,633	151

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		40,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
38,903	38,970	38,970	△880	
19,450	19,400	19,400	△500	
1,500	1,500	1,500	0	
3,890	13,800	13,800	9,900	
14,063	4,270	4,270	△10,280	
査定額	説明			
38,970				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・宝珠台、神馬台 修理 ・豊明台屋台蔵 修理
評価等	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。 ・設計施工一体型への移行など発注方式の見直しを進める。

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・宝珠台、神馬台、嵐岡台、仙人台 修理 ・豊明台屋台蔵 修理
評価等	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。 ・設計施工一体型への移行など発注方式の見直しを進める。

担当課 予算要求 ポイント	・国指定重要有形民俗文化財高山祭屋台及び屋台蔵の計画的な保存修理の実施に必要な経費を計上 ・屋台修理技術の継承に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94780 市史編纂事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	7	文化財費					
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・郷土の歴史を次代に伝える。	概要	・高山市史の編纂、刊行 ・編纂調査成果の公開、活用
----	----------------	----	------------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	74.3%	72.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		5,624	4,736	5,124	5,124	3,368	△ 1,368
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(市史編纂事業雑入)	500	498	500	500	274	△ 224
一般財源		5,124	4,238	4,624	4,624	3,094	△ 1,144
個票枝番	主な事業内容						
	新高山市史の編纂、発行	5,504	4,704	4,924	4,924	3,324	△ 1,380
	古文書解読等指導	120	32	200	200	44	12

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		0
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
査定額	説明			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・市史本編として「飛驒の山岳と自然の恵み編」1巻300冊を発刊した。
評価等	・市史編纂の調査成果を活用した講座等の開催により、市民の郷土の歴史文化に対する関心を高めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
	・「中世編」の発行を進める。 ・市史に関する講演会や講座を開催し、市民の関心を高める。 ・ホームページで公開し、教育や観光振興に活用できるようにする。

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・市史本編として「飛驒の中世編」1巻300冊を発刊した。
評価等	・市史編纂の調査成果を活用した講座等の開催により、市民の郷土の歴史文化に対する関心を高めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
	・当初の発行計画に基づき令和3年度の刊行を持って事業は完結した。 ・市史の調査成果を活用した特別展を開催する。

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94800 飛騨高山まちの博物館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	多様な文化遺産の保存と利活用による地域活性化を進めます。	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用			
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画			
			目	8	文化財施設費							
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民や観光客が気軽に集い憩う中で、城下町高山の歴史や文化に触れることにより、郷土愛の醸成を図る。 観光客に高山の歴史を感じてもらうことで高山の魅力を知ってもらい、リピーターを増やす。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 城下町高山を中心とした歴史文化について、資料収集や調査研究、展示、教育普及などの活動を行う。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	74.3%	72.8%	↗
飛騨高山まちの博物館の来館者数(年間)	89,466人	101,283人	232,000人
飛騨高山まちの博物館の公開可能な歴史資料の件数	22,956件	24,134件	27,532件

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		19,590	15,808	20,125	20,125	17,489	1,681
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(文化財施設使用料)	45	10	40	40	33	23
一般財源		19,545	15,798	20,085	20,085	17,456	1,658
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山まちの博物館の管理運営・特別展の開催	19,590	15,808	20,125	20,125	17,489	1,681

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		20,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
19,119	18,565	18,565	△ 1,560	
10	41	541	501	
19,109	18,524	18,024	△ 2,061	
査定額	説明			
18,565				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 特別展を開催 3回 歴史講座等を開催 4回 施設利用者数 来館者数 89,466人 研修室利用者数 2,866人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料である陣屋文書や町会所文書を計画的に公開し、活用を図った。 県博物館の移動展や特別展を実施することができた。 学問・文学、美術展示室の常設展のリニューアルを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史資料の適正な保存と公開等による活用を図る。 計画的に常設展のリニューアルを行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 特別展を開催 4回 歴史講座等を開催 8回 施設利用者数 来館者数 101,283人 研修室利用者数 3,482人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料である陣屋文書や町会所文書を計画的に公開し、歴史研究への活用を図った。 様々なテーマの特別展を開催し、郷土の歴史に対する理解を深めた。 信仰、美術展示室の常設展のリニューアルを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史資料の適正な保存と公開等による活用を図る。 計画的に常設展のリニューアルを行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史資料の適正な保存のために必要な経費を計上 計画的に常設展のリニューアルを行うために必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおり

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94810 文化施設管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用	
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画	
			目	8	文化施設費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画	
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2355							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史に対して、興味、関心を深め、文化財愛護意識を高めるとともに、郷土の歴史を次代に伝える。 収蔵施設での文化財や歴史資料等の適正な保存・管理 発掘調査等出土品の整理・調査研究や考古学関係の講座・学習会等の開催により、郷土の歴史に対する理解を深める。 市有文化施設等の安全・安心な利用を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理による文化施設の運営 文化財収蔵施設等の維持管理 風土記の丘学習センター等の管理運営
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	74.3%	72.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	54,601	53,173	52,731	52,731	47,633	△ 5,540	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(敷地占用料、寄附金(ふるさと納税))	2,494	2,529	194	194	272	△ 2,257	
一般財源	52,107	50,644	52,537	52,537	47,361	△ 3,283	
個票枝番	主な事業内容						
	文化施設の管理	54,601	51,204	52,731	52,731	47,633	△ 3,571
	施設整備	2,000	1,969				△ 1,969

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		53,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
108,489	65,805	65,805	13,074	
323	10,323	10,323	10,129	
108,166	55,482	55,482	2,945	
査定額	説明			
51,805				
14,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理7施設入館者数 77,252人 風土記の丘学習センター夏休み縄文体験講座の開催 参加者 土器づくり講座 24人 勾玉づくり講座 47人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 資料の収集、展示等を通して、郷土の歴史に触れる場の提供ができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の機能強化や展示等の充実を図り、郷土の歴史に親しめる環境づくりを行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理7施設入館者数 30,307人 風土記の丘学習センター夏休み縄文体験講座の開催 参加者 土器づくり講座 22人 勾玉づくり講座 33人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 公開施設を指定管理に委託し、効率的な管理・運営を行った。 市政記念館は耐震補強工事のため年度途中から閉館となり、入館者が減少した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の機能強化や展示等の充実を図り、郷土の歴史に親しめる環境づくりを行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理施設をはじめ、文化施設の管理運営に必要な経費を計上 風土記の丘学習センターの活用の充実に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	94830 飛騨高山まちの体験交流館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・市内観光及び広域観光の交通発着点であり、地産地消や高山の文化なども体験できる拠点空間(観光ハブ拠点)の形成に努めます。 ・地産地消が体験できる拠点空間(施設)の整備に努めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(5)	歴史伝統の保存、継承、活用		
			項	4	社会教育費		根拠計画		教育振興基本計画		
			目	8	文化財施設費						
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2959								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・体験型の施設として運営することにより、「学び」を主体とする飛騨高山まちの博物館と一体的な機能を発揮し、伝統文化伝承の拠点として歴史的風致の維持及び向上を目指す。	概要	・伝統的工芸品などの実演、体験、展示並びに文化体験等の実施 ・交流広場の提供による特産品PRイベントやまちなか活性化イベント等の実施
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	74.3%	72.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R2			R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
		20,310	19,470	20,160	20,160	19,424	△ 46	
特定財源	国費()							
	県費()							
	その他(文化財施設使用料)	435	433	440	440	131	△ 302	
一般財源		19,875	19,037	19,720	19,720	19,293	256	
個票枝番	主な事業内容							
	飛騨高山まちの体験交流館の管理運営	20,310	19,470	20,160	20,160	19,424	△ 46	

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		21,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
27,913	27,920	27,920	7,760			
27,913	27,920	27,920	8,200			
査定額	説明					
27,920						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者数 来館者数 96,034人 研修室利用者数 597人 交流広場利用者数 6,214人 実演、体験実績 4,251人 交流広場イベント 10件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 伝統産業や市指定無形文化財の有道しやくし、宮笠の他、新たに小屋名しようけの伝統文化の実演・体験を実施し、伝統文化の振興を図った。 教育旅行等に対する飛騨高山まちの博物館との一体的な活用を進めた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 民間の経営ノウハウを活かし、立地や環境を活用した事業展開や、効率的な施設運営を行うための指定管理者制度へ移行する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者数 来館者数 86,243人 研修室利用者数 525人 交流広場利用者数 15,248人 実演、体験実績 6,803人 交流広場イベント 15件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 伝統産業や市指定無形民俗文化財の有道しやくしなどの伝統文化の実演・体験を実施し、伝統文化の振興を図った。 教育旅行等に対する飛騨高山まちの博物館との一体的な活用を進めた。 次の世代を担う高校生や大学生が主体となったイベントを開催し、多くの世代が交流する場となった。 令和4年度より民間のノウハウを活かした指定管理施設として運営する。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と連携して、伝統文化の体験の場としての利活用や交流広場における様々なイベントでの利用を促進する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨高山まちの体験交流館の指定管理への移行に必要な経費を計上
---------------------	---------------------------------

財務部 査定の 考え方	・飛騨高山まちの体験交流館の運営に必要な経費を計上
-------------------	---------------------------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------